



1月園だより



平成31年1月9日(水)

わかば幼稚園・こども園

<あけましておめでとうございます>

■お正月はお揃いで楽しく過ごされたことでしょう。3学期がスタートしました。

わかば幼稚園・こども園の保護者の方々は、お子さんの将来、成長を真剣に考え通園させて頂いています。そのお気持ちを教職員一同再認識し、保育の評価・反省を重ね「熱意と向上心」「やさしく、親切、丁寧に」を忘れず、仕事をきちんと進めていきます。豊かな人間性、創造性、科学性の育成、誰とでも自由に平等に交流できる人間に成長して頂くよう、それぞれの成長をしっかりと受け止めさらに伸ばす保育を進めます。

保護者の方々もお子さんと一緒に楽しい幼稚園時代を送っていただけますよう、努力してまいります。よろしく願います。

<若葉三園合同発表会が会津風雅堂で盛大に行われました>

■若葉三園合同発表会が12月23(日)に会津風雅堂で盛大に行われ、『みんなであうたうよろこびを』『やりとげたおもいでをいつまでも』というテーマのもと、「劇・合奏・ダンス・歌」など、お子さんが生き生きと輝く姿をご覧いただきました。

早くから集合し、安全に誘導していただいた駐車場係のお父様方、チケット確認や園児の付き添いをして下さったお母さま方に大変お世話になりました。終了後の片付けは年長クラスの大勢の保護者の方にお手伝い頂き、短時間でスムーズに終わることが出来ました。

沢山のご協力があってこそ、お子さん達が力を発揮して素晴らしい発表会を行うことが出来ます。心から感謝申し上げます。

客席ではご家族の皆さんがお子さんの発表を目を細めて感動し、ご覧下さいました。皆様の応援がお子さん方の頑張りや成長する力につながっていると感じます。



■二部のフィナーレ、三園5歳児合同の歌では「よろこびの歌」にドイツ語を入れて発表しました。原曲のベートーベン合唱付「交響曲第9番」の演奏は平成30年でちょうど100周年を迎えました。初演は鳴門市のドイツ軍捕虜収容所でした。所長だった会津出身の松江豊寿さんは、他と違い所内で自由な雰囲気を作り、収容者にオーケストラ演奏を許可し、人道的な処遇に感謝されました。

お子さんが大きくなった時にこの経験を思い出し、機会があればご家族と一緒に歌って下さればと願っています。

■園児一人ひとりが主役と決め、役を決め、振り付けを考え、歌やセリフを録音し、必要な小道具や背景画、大道具をみんなで工夫し、意欲を高めて当日を迎えました。

クラスや学年の友達と気持ちを一つに難しい課題に本気で取り組み、やり遂げた満足感や達成感自信となり、生涯の財産の一つとなります。

一人一人のお子さんの豊かな心の成長を大切に、3学期もお子さんに寄り添った丁寧な保育を進めます。

音楽劇「七つ星」の様子



<市内のこども園・幼稚園が教育・保育の質の向上、保幼小連携推進の公開保育を行います >

■認定こども園・幼稚園・保育園等の幼児教育と小学校教育の滑らかな接続の推進と幼児教育・保育の質の向上を目的とした公開保育を市内全てのこども園・幼稚園が行い、若葉三園は下記の日程で実施します。

市内認定こども園・幼稚園が加盟する会津若松市幼児教育振興協会が主催し、この公開保育は三年目を迎え、協会各園と小学校の先生方が参加されます。

【公開保育日程】

- ◎みなみ若葉こども園 1月17日(木)
- ◎会津若葉幼稚園 1月25日(金)
- ◎菅原若葉こども園 1月29日(火)



満3歳クラス 製作の遊び様子
「チョコチョコキ ハサミで作ったよ。」

■今年度4月より「新幼保連携型認定こども園教育・保育要領」「新幼稚園教育要領」「新保育所保育指針」が実施され、2020年度から「新小学校学習指導要領」実施を控え、それぞれの教育の質の向上と保幼小連携が一層推進されます。

乳幼児期と学童期を接続する教育機関の保育士・教諭がお子さん方の健やかで幸せな成長に向けて課題を確かめ、それぞれの教育現場でのより良い援助・指導につなげられるよう進めています。



3歳クラス お掃除の様子
床がピカピカになったよ!

<一人一人の成長を確かめる『成長・発達の記録Ⅱ』の内容と目的> ～有意義な個人面接を～

■お子さんの心身全般の成長を、春からの園での遊びや生活の様子(友達関係、興味関心の広がり、得意なこと、取り組んでいきたいことなど)を整理した『成長・発達の記録Ⅱ』を1月末にお届けする若葉園独自の取組みです。

『成長・発達の記録Ⅱ』は園の保育が十分かどうかを見る側面もあります。ご家庭で最近成長が目立つ姿など、保護者の皆様が先に気づかれる部分も沢山あると思います。保育内容や方法に改善を加え努力しますので、お気づきの点、ご感想などご遠慮なくお伝え下さい。

2月1日(金)～2月8日(金)の「個人面接」期間で保護者の皆様と担任が、園での様子やご家庭での様子を話し合い、お子さんの成長の共通理解を深めます。お一人15分～20分程度ですが、有意義な話し合いとなるよう『成長・発達の記録Ⅱ』と『個人面接打ち合わせ表』を基に進めます。

時間が足りない場合には、改めて十分な時間を取りますので、担任にお申し出下さい。「子育て相談」を学園理事長、各園の園長、副園長が随時お受けしますので、迷いや気がかりを抱え込まずお話ししていただき、気持ちに余裕を持って、子育てをゆったりと楽しんでいただきたいと思います。



<3学期の保育参観・子育てセミナーに ぜひお出かけ下さい>

■今年度のまとめとなる保育参観と子育てセミナーは、下記の日程で行います。

◎菅原若葉こども園	1月23日(水)
◎会津若葉幼稚園	1月24日(木)
◎みなみ若葉こども園	
1月30日(水)	満3・3歳クラス ※子育てセミナー
1月31日(木)	4歳クラス
2月1日(金)	5歳クラス

ご両親の他におじいさん、おばあさんなどご家族どなたでも参観できます。ご都合の良い時間にご覧になって下さい。お子さんの立派に成長した態度や行動、頑張っている姿を家族団らんの場でお話いただくことが、更にお子さんの成長や意欲につながります。

■集団の中でお子さんの成長の姿を確かめる機会や時間は、『こども園』『幼稚園』が保育所、小・中学校に比べもっとも多くあります。

充実した生活の中で成長している様子を直接確かめておかれると、思春期、青年期の大きな変化にも驚かず余裕を持って接することができます。生涯の中で数少ない機会ですので、どうぞご活用下さい。

■参観後は1時間程度の「子育てセミナー」を行います。参加された皆様から「子育ての参考となるいろいろな情報を聴くことができます」と喜んで頂いています。

若葉こども園・幼稚園では保護者の方がお子さんを見る視野を広げ、新鮮な気持ちで子育てをして頂きたいと願っています。専門的なお話を聴くことで、親として子どもより一足先の成長ができる良い時間となりますので、ぜひご参加下さい。

<こども園幼稚園部一日入園説明会を 行います>

■平成31年度「新入園児説明会」を12月から3月の期間で3回に分けて各園行っています。

お子さんが集団生活に慣れ楽しく通園できるように「幼稚園・こども園の生活がどのようなものか」「入園の心構え」「持ち物や準備する物」などについてパワーポイントや資料をもとに、詳しくご説明します。

制服の引き渡しやスクールバス利用希望の方は乗車場所の確認、預かり保育ご利用の方に「過ごし方の内容や用意していただくもの」についてお話しします。お子さんは説明会の間、同じ年齢のお友達や先生と遊具で遊んだり紙芝居をみながら、園生活を体験します。

■保護者の皆様に園児の成長の様子や雰囲気などご紹介していただき、行事などにお誘い下さるなど、ご協力をいただき感謝しております。『どこの幼稚園・こども園がいいか?』『満3歳入園は早いかな?』など迷っている方、情報を知りたい方がいらっしゃいましたら、若葉幼稚園・こども園の保育をお薦めいただくようお願いいたします。



<冬休み中園内研修を進めました>

■1月4日・5日の2日間、若葉幼稚園・こども園全教職員で新年園内研修を行いました。

改元や消費税アップ、幼児教育無償化など変化する時代に、自己発揮しながら輝ける子ども達を育てていくために「子どもの最善の環境を整備する」という、理事長の新年の言葉の後、自己評価・反省に基づいてワークショップを進めました。その中で、若葉幼稚園・こども園の職員としての目標を共通理解し、自己を見つめ直し、自分の役割が何であるか理解を深めました。

■ワークショップでは、園児の現実の姿と園教育課程(教育の保育プラン)とを照らし合わせ、3学期の保育をどう進めていくのか、学年で目標の共通理解をすすめました。

保育教諭としての資質をより高め「優しく・親切・丁寧に」を大切に、園児の皆さんひとり一人が自信を持って様々な事に楽しくチャレンジし、個性や意欲を発揮し、充実した園生活を送れるよう進めていきます。ご家庭と共にお子さんの成長を確かめ合い、保育を進めますので、ご協力を宜しくお願いします。

<安全第一にスクールバスを 運行します>

■12月26日、スクールバスの規則、運転手、通園指導員、教師の心得、などについての研修と、三学期のスクールバス試運転を行い道路状況の確認と安全運転について再確認をしました。

積雪や凍結で道路が狭くなるなどの状況により、安全確保のためスクールバスの到着時間の遅れ、乗降場所の変更もありますご理解をお願いします。各園に除雪車を配備していますので、各園からの出発に大幅な遅れはないと思われま。各園とスクールバスに無線を搭載し、道路状況の連絡を取り合って運行します。

■積雪時は、交通渋滞などで運行時間が遅れがちになります。寒い中待ってられる皆様にご迷惑をおかけしないよう、安全第一と時間に十分注意を払い、事故のない運行に努めます。様々な事態が生じた時には、電話連絡でお知らせしますので宜しくお願いします。

<ソニー幼児教育支援プログラム 2018年度・奨励賞受賞>

■「子ども科学教育プログラム」・「幼児教育支援プログラム」で、12月20日にみなみ若葉こども園が奨励賞を受賞しました。

今年度は、優秀園に二本松市立幼稚園、奨励園にみなみ若葉こども園、二本松市立保育所、福島大学附属幼稚園、優秀校に福島大学附属小学校、奨励校に会津若松市立謹教小学校、いわき市公立小学校2校、郡山市立小学校、相馬市立小学校、田村市立小学校の計11校が受賞しました。

みなみ若葉こども園の審査評で、「昨年度、子ども達の自然への関わりから、物との関わりへと興味が広がっていった背景を基に、本年度子ども達の興味・関心に寄り添って、新たに「科学する心」の育ちの図を考え直すなど、目の前の子ども達を視点に置きながら、真摯に向き合っていることが伝わってきます。(～途中省略～)

保育の可視化の工夫により、学級の取り組みが他の学級や学年と繋がり、互いに刺激となって、子ども達が体験を広げていることが分かります。この様な丁寧な記録の読み取りの積み重ねや環境の工夫が、子ども達の確かな育ちに繋がっている点(一部抜粋)」が評価されました。

4歳クラス6月
船つくりの
様子 試行錯誤
しました。



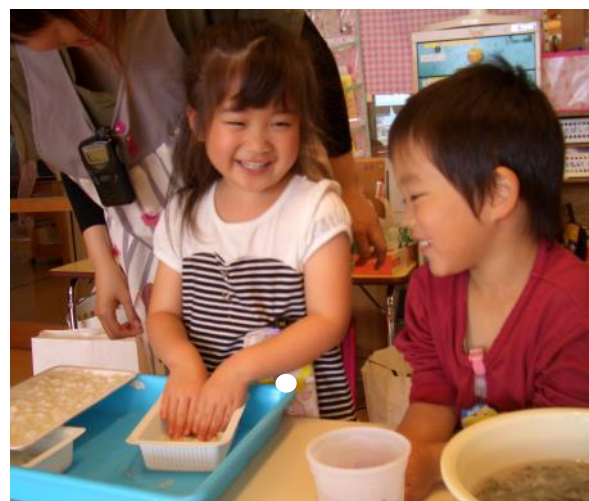
2月15日(金)に行われる福島県合同表彰式にみなみ若葉こども園 中澤幸恵園長と遠藤瑞己教諭が研究代表として出席します。

<全国の幼児教育機関が選考対象の 『ソニー幼児教育支援プログラム』>

■ソニー教育財団は、『乳幼児期の科学する心』を重視して、人や自然、ものとの関わりを通して、思いやりの心、豊かな感性や、好奇心・創造性など豊かな人間性のある次世代を育くむ『幼児教育支援プログラム』を進めています。

子どもたちの「科学する心」を育むことに情熱を持って取り組んでいる全国のこども園や幼稚園、保育園を支援し、優れた取り組みや成果を全国に広めています。

2018年度は全国30都道府県の幼稚園・保育所・認定こども園から146件の応募がありました。若葉幼稚園・こども園では、全国レベルのプログラム審査に継続して取り組み、文科省の幼児教育専門家や大学の先生方による客観性のある第三者評価をいただき、『保育の質の確認と向上』につとめています。



紙を作ってみよう!